

令和8年9月29日

関係各大学長
関係各学部長 殿
関係各機関長

熊本大学大学院生命科学研究部長
尾 池 雄 一
[公印省略]

教員の公募について（依頼）

謹啓 時下ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび熊本大学大学院生命科学研究部（教育学系養護教育）では下記の要領により教員1名を公募することとなりました。つきましては、貴学及び関係機関に御周知いただき、適任者がいらっしゃいましたら、御推薦くださるようお願い申し上げます。

（注）本学では、令和9年4月1日から新たな教員人事制度及び教員組織体制に移行いたします。

記

- 1 職名及び人員 教授 1名
- 2 所属 熊本大学学術院人文社会科学域教育学系
- 3 教育活動を実施する部局（注）
 - ・学部教育：教育学部養護教諭養成課程
 - ・大学院教育：大学院教育学研究科／大学院医学教育部（採用者決定後、本人の希望、専門性によりいずれかに決定）

研究活動を実施する部局

 - ・大学院生命科学研究部／大学院教育学研究科（採用者決定後、本人の希望、専門性によりいずれかに決定）

採用後は、熊本大学学術院人文社会科学域教育学系に所属していただきます。

学部教育は、主として教育学部養護教諭養成課程における教育を担当していただきます。

大学院教育は、大学院医学教育部又は大学院教育学研究科のいずれかを主たる大学院教育の担当部局とします。担当部局については、採用者の希望及び専門性を踏まえ、本学が決定します。なお、主たる担当部局以外の大学院科目についても、一部を分担していただく可能性があります。

研究活動については、大学院生命科学研究部又は大学院教育学研究科のいずれかを主たる担当部局とします。担当部局については、採用者の希望及び専門性を踏まえ、本学が決定します。

教育学部養護教諭養成課程は、熊本大学教育学部が令和8年度から佐賀大学との共同教員養成課程に移行した後も、共同教員養成課程には所属せず、引き続き熊本大学教育学部に一課程として所属します。

- 4 専攻（担当）分野 小児健康教育学、学校保健学及び関連分野

5 担当授業科目

採用後は、以下の科目のうち、専門性、教育経験及び本学の教育体制を踏まえ、主担当又は分担により担当していただきます。

- (1) 学部 小児科学、学校保健Ⅰ・Ⅱ、学校安全、予防医学、衛生学、教職保健、生理学実習、教職実践演習、臨床実習、卒業論文等及び教養教育科目

(2) 大学院（注）

大学院教育学研究科を主たる担当部局とする場合は、学校保健の理論と実践、教育実践研究、教育研究方法論、実践課題研究、健康教育の実践研究等を担当していただきます。

大学院医学教育部を主たる担当部局とする場合は、小児健康教育学実践Ⅰ・Ⅱ、発達生育医学理論等を担当していただきます。

なお、いずれの場合も、専門性及び教育体制に応じて、他研究科の科目を一部担当していただく可能性があります。

※本学の将来構想及び学部、研究科等の構成に関わって担当授業科目に変更が生じる可能性があります。

※養護教育に関わる社会貢献にも積極的に参加していただきます。

6 応募資格条件

- (1) 博士の学位を有すること。博士の学位に関しては、授与機関、取得時期等を明記すること。
- (2) 大学院教育学研究科（教職大学院）、あるいは大学院医学教育部における授業担当及び研究指導が可能な者。
- (3) 医師免許を有し、小児科医として臨床実務経験を有する者。小児科専門医資格を有することが望ましい。
- (4) 教員養成に熱意を持ち、学部教員養成教育における授業担当が可能な者。
- （参考）本学の定年は65歳である。

7 採用予定日 令和9年4月1日

8 提出書類

- | | |
|---|----|
| (1) 推薦書 | 1部 |
| (2) 履歴書（様式有） | 1部 |
| メールアドレス及び連絡先をご記入下さい | |
| また、出産、育児、介護に専念（あるいは従事）した期間について考慮することを希望される場合は、付記してください。 | |
| (3) 業績目録（様式有） | 1部 |
| (4) 主要研究論文目録（総説を含む）（様式有） | 1部 |
| 最近5カ年の原著論文を中心に、主要論文20編の別刷各1部を添付のこと（原本・写し・PDFデータいずれでも可） | |
| (5) 業績の概要（様式有） | 1部 |
| (6) 教育・研究に対する抱負（様式有） | 1部 |
| (7) 教育実績および学校保健に関する活動実績（様式有） | 1部 |
| 大学における医学教育、養護教諭養成教育、児童生徒を対象とした授業・講演、保護者・教職員・地域等を対象とした講演会・啓発活動等の実績を記載してください。 | |
| (8) 申告書（様式有） | 1部 |

併せて、電子媒体でも提出願います。（推薦書を除く。論文別刷は原本・写し・PDFデータいずれでも可）

※（2）～（8）の様式は、本研究部ホームページ（<http://www.medphas.kumamoto-u.ac.jp/recruit/>）の教員募集ページからダウンロードしてご使用ください。

9 応募締切日 令和8年10月28日（水）必着

10 応募書類送付先・照会先

〒860-8556

熊本市中央区本荘1丁目1番1号

熊本大学医薬保健学系事務課医学事務チーム 総務・人事担当 宛

e-mail: ski-jinji@jimu.kumamoto-u.ac.jp

※応募書類の封筒には「小児健康教育学（養護教諭養成課程）教員応募書類」と朱書の上、書留又は簡易書留郵便で送付すること。

11 労働条件等

- (1) 職務内容 (雇入れ直後) 教授としての業務に従事する
(変更の範囲) 熊本大学の定める業務
- (2) 勤務形態 同意に基づく専門業務型裁量労働制
勤務時間は職員の裁量に委ねるものとし、1日の勤務時間は7時間45分とみなす
- (3) 任期の定め なし
- (4) 試用期間 6か月
- (5) 勤務場所 (雇入れ直後) 熊本大学黒髪キャンパス 及び 本荘キャンパス
(変更の範囲) 熊本大学の定める範囲
- (6) 時間外労働 時間外、深夜、休日労働の有無：有
- (7) 賃金等 国立大学法人熊本大学2号年俸制適用職員給与規則に定めるところによる
- (8) 社会保険 文部科学省共済組合、雇用保険及び労災保険に加入
- (9) 雇用者 国立大学法人熊本大学

12 その他

- (1) 選考過程でセミナー及び面接を実施する場合は、旅費等必要経費は応募者負担とします。
- (2) 提出書類は返却しません。希望があれば、着払いにて返却します。
- (3) 熊本大学はダイバーシティを推進しています。また、女性研究者の活躍促進のため、パートナーとの「一緒に雇用制度」や熊本出身の方への「帰って雇用制度」を設け、採用時に研究活動のスタートアップ支援を行っております。詳細は、ダイバーシティ推進室へお尋ねください。
<https://diversity.kumamoto-u.ac.jp/>
- (4) 選考にあたっては、雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律第8条の規定に基づき、女性教員の在籍率を改善するための措置として、公正な評価に基づき職務に必要とされている能力が同等と認められる場合は、女性を優先的に採用します。
- (5) 本学採用後、業績評価に関して、評価対象期間において、育児休業等を取得した者及び育児等のための短時間勤務を行った者に対しては、当該期間に相当する期間を遡及して評価対象期間に加えます。
- (6) 熊本大学では、教員の英語による教授能力の向上及び英語教育の強化に取り組んでいます。
- (7) 熊本大学では、競争的研究費や民間資金による共同研究等の直接経費の一部を、研究代表者等の給与への上乗せ（年間上限＜教授の場合＞1,000万円）、自由裁量経費の配分、若手研究者を雇用できる資金へ転換できる制度が利用できます。

https://www.kumamoto-u.ac.jp/kenkyuu_sangakurenkei/kenkyuu/kenkyu/jwalct